

えひめ視覚障がい者をつくる

「みることを考える」プロジェクト

令和2年度文化庁 地域と共働した

博物館創造活動支援事業

みる 冒険

2021年

2月6日 土 -

3月7日 日

開館時間 9:40-18:00 (入場は17:30まで)

新館2階 常設展示室3 観覧料無料

休館日: 月曜日 (ただし第1月曜日は開館、翌日が休館)

- 主催 えひめ視覚障がい者をつくる「みることを考える」プロジェクト実行委員会 (愛媛県美術館、愛媛県立松山盲学校、愛媛県立松山聾学校、愛媛県視覚福祉センター、視覚障がいリハビリテーション協会、愛媛県保健福祉部生きがい推進局障がい福祉課、愛媛県教育委員会事務局指導部特別支援課)
- 後援 愛媛県教育委員会、愛媛県小中学校長会、愛媛美術教育連盟、愛媛新聞社、朝日新聞松山総局、読売新聞松山支局、毎日新聞松山支局、産経新聞社、NHK松山拠点放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛、えひめリビング新聞社
- 協力 公益財団法人愛媛県視覚障害者協会

【交通案内】

※駐車場は、県庁西駐車場(2時間無料)をご利用いただけますが、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。

◎JR松山駅前より: 道後温泉または松山市駅行き市内電車で7分、南堀端(愛媛県美術館前)下車、徒歩1分。

◎松山観光港より: 観光港リムジンバスで26分、「松山市駅」下車、徒歩5分。

◎松山空港より: 空港リムジンバスで24分。「松山市駅」下車、徒歩5分。/ 路線バスで30分。「南堀端」下車、徒歩1分。

◎松山インターチェンジより: 車で20分。



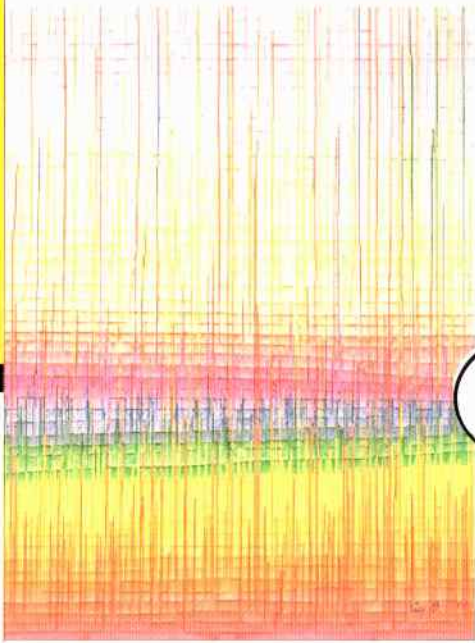
であつながる ひろがる — アートの宝石箱 —

愛媛県美術館

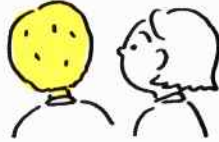
えひめ視覚障がい者をつくる「みることを考える」プロジェクト実行委員会事務局
〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 愛媛県美術館内
TEL.089-932-0010

える」プロジェクト

綾嘸《Rainbow Rain》1977年 愛媛県美術館蔵



上を向いた線から
希望を感じる。



池の中央あたりは薄いグレーで
右端は濃いグレーになっているので
影を描いている？

雲の影でしょうか。

私は灰色の違いは、
水深の違いかな
と思いました。



不思議な形になって
びっくり!

粘土に力を加えて
変形してみよう!



触って感じる 作品展示

「眼で見ていることで閉ざされてしまい、眼を閉じることで広がる世界がある。」と語り、手の感触だけでつくり、鑑賞する彫刻＝「触覚彫刻」に挑戦している中ハシクシゲ。

眼を閉じて作品をつくった経験により、視覚障がい者の触覚の領域が晴眼者の領域とはまるで違うことに気が付きました。

2020年夏。手の感覚に敏感な松山盲学校の生徒が、中ハシとともに触覚でつくる彫刻の表現に挑戦しました。

本展では、中ハシがはじめて「触覚彫刻」に取り組んだ愛犬の作品や松山盲学校生徒の干泥作品、同素材で制作した中ハシの作品などを展示します。

触ることから広がる触覚の世界に一步踏み入れてみませんか。



中ハシクシゲ《お出掛け犬》2018年 作家蔵 写真撮影：福永一夫

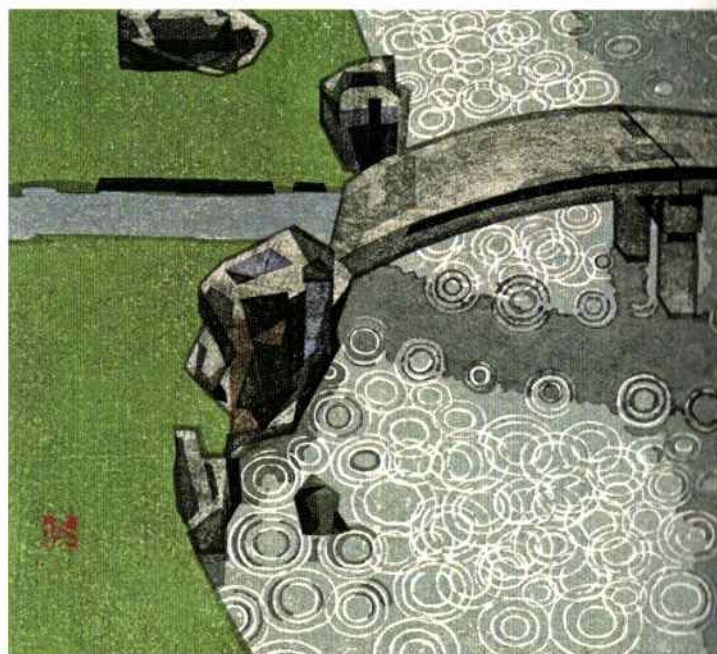
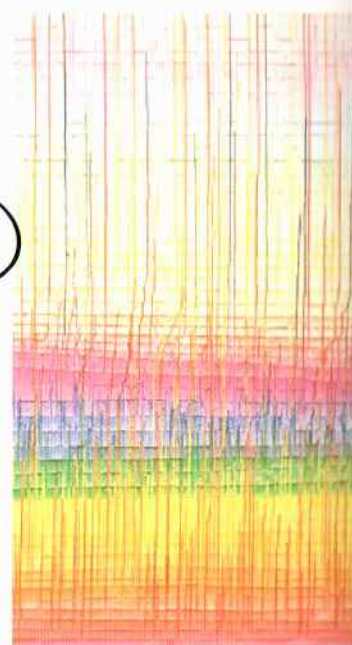


えひめ視覚障がい者をつくる「みることを考

えひめ視覚障がい者をつくる「みることを考える」プロジェクトでは、視覚障がい者とともに美術鑑賞することや、「みる」ことを広げるための視覚に頼らない美術の楽しみ方について探ってきました。

美術鑑賞では絵画を鑑賞するための補助となる触図（絵画の構成を凹凸で示したもの）や、立体作品を手でみる鑑賞、作品を言葉で伝える方法、対話型鑑賞の実践など、検討を繰り返しました。また、松山盲学校では彫刻家の中ハシクシゲ氏の協力を得て、触覚表現のオンライン授業を実施しました。そのほか、視覚障がい者の美術館利用を考えた施設案内の文章や市駅からの道のり説明文の作成にも視覚障がい者の方の協力を得ながら取り組みました。

本展では、この1年のプロジェクトの取り組みを報告し、来館者の方にいつもと違った「みる」体験をしていただき、「みる」ことについて、考えるきっかけとなることを願っています。そして、視覚だけでは得られなかった気づきや他者の視点を共有し、新たな「みる」冒険のはじまりとなれば幸いです。



橋本興家《雨》1966年 愛媛県美術館蔵

彫刻とは力のこもったものをつくるのが大事なんだよ。



「みる」を考える 冒険ワークショップ

視覚を閉ざした世界を知ること、他者の視点を共有することで美術鑑賞が広がります。

美術との距離、心の距離を縮める新様式的美術鑑賞を試し、「みる」を考える冒険をしてみましょう!

連続講座「みることを考える」

①「みる」を考える

目を閉じて視覚以外でみること、見えない人とみることを体験し、「みる」ことについて考えるワークショップです。

日時 1月30日(土) 14:00~15:30

場所 講堂

定員 4組 ※2名1組でお申込みください。

申込 要事前申込(先着順)

② 取り組みについて

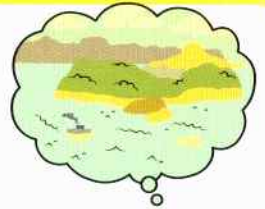
視覚障がい者をつくる「みることを考える」プロジェクトについて、報告します。

日時 2月20日(土) 14:00~15:30

場所 講堂

定員 30名

申込 要事前申込(先着順)



レクチャー「視覚障がいを知る」

日時 2月11日(木・祝) 10:30~12:00

場所 講堂

講師 愛媛県視聴覚福祉センター職員

定員 30名

申込 要事前申込(先着順)

コレクショントーク+(プラス)

目が見える人、見えない人が一緒に対話型鑑賞(みんなで話し合うこと)で作品を楽しみます。

日時 2月14日(日)、19日(金)、3月3日(水)
14:00~15:00

場所 研修室

ナビゲーター 作品ガイドボランティア

定員 8名

申込 要事前申込(先着順)



※お申込みの際は、障がいの有無と種別、介助者の有無をお伝えください。

視覚障がい者をつくる美術鑑賞ワークショップ

参加者が様々な視点を持ち寄り、会話を通して、美術の新たな楽しみを発見する鑑賞プログラムです。

日時 2月23日(火・祝) 13:30~16:00

ファシリテーター 視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップメンバー

開催方法 Zoomによるオンライン開催

申込 2月9日までにお申し込みください。

※応募者多数の場合は抽選します。

※お申込みの際は、障がいの有無と種別、介助者の有無、参加動機、年齢をお伝えください。



スペシャル手でみるデー

スタッフとともに立体作品を目を閉じて触覚だけで鑑賞します。

日時 2月6日(土)、13日(土)、20日(土)、
27日(土)、3月6日(土)
10:00、10:30、11:00、11:30※所要時間30分

場所 常設展示室3

定員 各1名

申込 要事前申込(先着順)

※お申込みの際は、参加希望日時をお伝えください。

手でみるデー

一部立体作品を手で触って鑑賞できます。また、触図(絵画の構成を凹凸で表したもの)、作品説明の音声、画像拡大の補助ツールをお試しいただくことができます。

日時 会期中の水・土曜日
9:40~12:00・14:00~18:00

場所 常設展示室3

申込 申込不要

※視覚を閉ざして作品を触って鑑賞する場合は、誘導者として協力し合える方との来場をおすすめします。



鑑賞サポート

視覚障がい者の方を総合案内から手引きをして鑑賞のサポートをします。

申込 要事前申込(日時は相談の上、決定します。)

申込方法

電話、FAX、ホームページ申込フォームからお申込みください。
申込先:愛媛県美術館 tel.089-932-0010
fax.089-932-0511/https://www.ehim.art-jp



愛媛県美術館HP

新型コロナウイルス感染拡大防止のため状況により、会期等変更する場合がありますので、ご来館時には最新情報を愛媛県美術館ホームページでご確認ください。